



黒企第 298 号

平成 27 年 2 月 27 日

黒石商工会議所

会頭 村 上 信 吾 様

黒石市長 高 樋



平成 27 年度黒石市に対する要望事項の回答について

平成 26 年 12 月 24 日付け黒商発第 82 号で提出のあったこのことについて、別添のとおり回答いたします。

担当：企画財政部企画課 いまの 今野

TEL 0172-52-2111 内線 238

FAX 0172-52-6191

平成27年度

黒石市に対する要望事項の回答

黒 石 市

## 平成27年度黒石市に対する要望事項一覧

### ◆福祉

- 1 黒石病院に対するサービスの改善について…………… 1
- 2 高齢者に対する健康づくりの推進について…………… 2
- 3 住みよい街づくりのための住環境の改善について…………… 3

### ◆商工業振興

- 4 シャッター街の解消について…………… 4
- 5 黒石市の入札制度について…………… 5
- 6 黒石市制度融資の拡充について…………… 6
- 7 地域産業振興・雇用拡大につながる交付金制度の創設について…… 7

### ◆都市環境

- 8 定住・交流人口増加対策の強化について…………… 8
- 9 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について…………… 9
- 10 黒石市中心市街地活性化基本計画の進捗について…………… 10
- 11 黒石市の空き家調査について…………… 11

### ◆観光振興

- 12 黒石よされ誘客の促進について…………… 12
- 13 近隣市町村とのイベント情報の一元化について…………… 13

### ◆文化・教育振興

- 14 市主催イベントの充実について…………… 14

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	1 黒石病院に対するサービスの改善について
------	-----------------------

要望事項の内容	<p>厚生・福祉部会事業の開催時にアンケート調査を実施した結果、約7割の方が黒石病院に対して改善・検討を望んでいるとの回答があった。良質な医療の提供は、地域住民の健康維持や生活の向上に繋がるという観点から、下記について要望いたします。</p> <p>①受付・診療待ち時間の改善 ②日曜・祝日診療実施の検討</p>
要望事項に対する回答	<p>① 受付・診療待ち時間の改善</p> <p>待ち時間の改善を図るための方策として、当院では平成24年4月から「登録医制度」を導入し、黒石病院での外来診療や検査が終了した患者さんや、入院治療で改善した患者さんを紹介元登録医療機関に逆紹介し、そこで再び治療等を行っていただけるようにしました。この登録医制度の導入以後、年々、外来患者数は減少傾向にあります。ただし、減少傾向とは言っても、平成26年4月から11月までの一日当たりの外来患者数は平均で647.5人となっており、当院の常勤医師数では、一部の診療科では定められた診療時間内にすべての患者の外来診療を終了するには困難な状況に変わりありません。このことから、登録制の導入に続いて、平成26年3月から内科で、平成27年1月からは整形外科で、それぞれ次回の診察日及び診察時間を指定する予約制を導入しました。この予約制は、待ち時間の短縮と混雑の緩和のため、特に混雑する二つの診療科で導入したものです。</p> <p>これらの対策のほか、電子カルテの導入や、非常勤医師による外来診療、医師事務作業補助スタッフの増員など実施して参りましたが、今後も、受付・診療待ち時間の改善に向けて、あらゆる方策を講じてまいりますので、何卒、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>② 日曜・祝日診療実施の検討</p> <p>医師不足の中、黒石病院は365日24時間救急患者の受け入れを行うほか、宿直勤務後も通常勤務を行うなど、医師の過重な勤務により病院が維持されていることをまずご理解願います。</p> <p>病院機能を維持するためには医師確保・看護師確保が重要であり、そのためには労働条件が大きく影響するものと考えております。労働条件の悪い病院には医師・看護師は集まらないし、場合によっては医師・看護師が黒石病院から流出することも十分考えられ、地域住民に安心できる医療の提供は困難になります。安心安全な医療を提供するには、医師や看護師の負担を軽減し、心身ともに充実する環境整備が必要です。また、日曜・祝日診療に対応できる人員もありません。</p> <p>このようなことから、週休二日制が定着している現状において、日曜・祝日診療を実施することについては、人員の確保さらには黒石病院の労働条件を整備する上でも実施する考えはありません。</p>

担当課・機関名	黒石病院事務局
---------	---------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	2 高齢者に対する健康づくりの推進について
------	-----------------------

要望事項の内容	<p>高齢者が日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、地域の中に生きがい・役割をもって生活できる環境づくりの一助とするべく、精神機能・身体機能を総合的に活性化することを目的とした「心身体操」を広めるなど、高齢者に対する健康づくりの推進を要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>高齢者が生きがいを持って生活できるよう、第6期高齢者福祉計画において各種事業を実施します。</p> <p>生きがい推進事業例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ補助金</li> <li>・福祉バス（無料）</li> <li>・敬老会（米寿顕彰）</li> <li>・百歳顕彰</li> <li>・金婚式</li> <li>・老人福祉センター健康教室 など</li> </ul>

担当課・機関名	高齢介護課
---------	-------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	3 住みよい街づくりのための住環境の改善について
------	--------------------------

要望事項の内容	<p>市の人口減少に歯止めをかけ定住者の増加を見据えた、住みよい街づくりのための住環境の改善を下記について要望いたします。</p> <p>①子育てや高齢者支援などの行政サービスの拡充 ②通学路の整備（歩道の幅員拡大や除排雪による生活道路の確保）</p>
要望事項に対する回答	<p>①子育てや高齢者支援などの行政サービスの拡充</p> <p>現状でできる限りの子育て支援事業を継続（実施）してまいります。 主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児医療費給付（対象者の所得制限なし、就学児前児童自己負担なし、現物給付）</li> <li>・保育料の軽減（国の基準額より軽減）</li> <li>・保育料第3子以降3歳未満児無料化（県補助に加え上乗せ補助）</li> <li>・ひとり親家庭等医療費給付（対象者の所得制限なし、児童は現物給付）</li> </ul> <p>また、高齢者が可能な限り自立した在宅生活ができるよう、介護予防を柱とした各種事業を実施します。</p> <p>②通学路の整備（歩道の幅員拡大や除排雪による生活道路の確保）</p> <p>現在、路肩整備（歩道設置）については、歩行者及び車両等の通行の安全・快適性の向上を図るため黒石高田線の事業を実施しており、今後も地区要望などを鑑み、事業に取り組んでまいります。 なお、冬期間における歩道除雪については、通称「八間道路」の主要地方道大鰐浪岡線等、一斉除雪の際に除雪している歩道もありますが、それ以外の通学路になっているところについては、冬休み明けの登校に合わせて除排雪を実施しております。</p>

担当課・機関名	福祉総務課、高齢介護課、土木課
---------	-----------------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	4 シャッター街の解消について
------	-----------------

要望事項の内容	<p>店舗や人通りの減少が、治安の悪化や冬期間の雪による倒壊などの様々な問題の要因となっている。また空き店舗を活用し、商店街に賑わいを取り戻すことにより、地域経済に及ぼす影響は大きいという観点から、シャッター街の解消に向けて空き店舗の貸し手・借り手双方のニーズを把握しマッチングさせることによる、貸しやすい・借りやすい土壌、仕組みづくりの構築、また貸し手に対する優遇措置を要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>市では中心商店街の空き店舗に対する新規出店者に対し、店舗賃借料は平成10年度から、平成26年度からは店舗賃借料と改装費用の一部補助を実施しており、改装費用について現時点で申請件数は1件となっております。空き店舗数に対し出店が伸び悩んでいる原因として、店舗併用住宅のため廃業後は他人に貸さない方針であったり、老朽化が進み改装費に多額の経費がかかる建物が多いこと等が考えられます。現に当該補助金に関する問い合わせは今年度21件あり、様々な業種で新規開業を検討されている方はいるものの、中心商店街への出店に至っていないのが現状です。</p> <p>その一要因である、中心市街地の空き物件活用の開業時の経費軽減のため、市では平成27年度も「黒石市中心商店街空き店舗対策事業」を実施し、改装費の一部補助を行う予定であり、制度を活用して新規開業者が増えることを期待するところであります。</p> <p>空き店舗の情報管理と出店希望者へのマッチングについては正確かつ詳細な情報収集が必要であり、不動産業者管理物件並びに不動産業者に仲介依頼をしていない個人管理物件の調査、さらには集積した情報の更新作業等あり時間を要することから、商工会議所や商店街団体と連携して実施する方が有効であると考え、その方法について研究中であります。</p> <p>貸し手に対する優遇措置につきましても助成制度や税の減免等考えられますが、市内他地域との公平性や優遇措置を図ることに対する効果の見極め等、今後、判断して参りたいと思います。</p> <p>また、昨年末、貴商工会議所が設置した中心市街地活性化特別委員会は市の関係課職員もオブザーバーとして参加させていただいておりますので、動向を視野に入れながら進めて参りたいと考えます。</p>

担当課・機関名	商工観光課
---------	-------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	5 黒石市の入札制度について
------	----------------

要望事項の内容	<p>黒石市の入札制度においては、市内業者を中心に継続して実施されているものと認識している。しかし未だ当地域内の景気回復の兆しが見られない現状を鑑み、今後発生するものに関しても地元企業の技術や地元に対する貢献度などを、これまで以上に評価していただくなど、可能な限り地元業者を優先する制度の実施を要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>市では、市内業者では対応できない場合、又は市内業者だけでは競争性を確保できない場合を除き、原則として市内業者を優先発注しております。市内業者への優先発注により地域雇用の確保及び地域経済の活性化を図っております。物品調達や業務委託など、特に公共工事においては、下請けや資材調達など様々な事業者と関わりがあることから、地域経済への影響が大きいばかりではなく、市内業者の支援を行うことにより、災害時の早期対応や除雪業務への協力など安全安心な市民生活の確保につながるものです。</p> <p>今後も市内業者の受注機会及び市内業者の育成に努めると同時に公正な競争が行われるように配慮し、入札制度の公平性、透明性をもって実施していきます。</p>

担当課・機関名	管財課
---------	-----



平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	6 黒石市制度融資の拡充について
------	------------------

要望事項の内容	<p>黒石市制度融資の小口資金特別保証制度資金並びに事業活性化資金特別保証制度については当該保証料を市が負担していることで地域事業者の資金繰り円滑とともに、事業者においても事業経営安定に寄与しています。しかしながら、融資枠に対する市負担保証料の予算額が不足する場合、必然的に自己負担しなければいけない事業者があり、不公平感が生じています。ついては、隣接する他市同様、市負担保証額を貸出限度総額まで拡大し、地域事業者の資金繰り円滑化を図るためにも下記について制度内容の拡充を要望します。</p> <p>①貸付総額に対する全額保証料補給 ②小口資金特別保証制度資金・事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用推進のPR</p>
要望事項に対する回答	<p>黒石市特別保証融資制度については、市内中小企業者に対する重要な支援策の一つと捉え、使い勝手の良い制度になるよう検討を重ねております。保証料の補給額については、年度によって制度の消化率も大幅に変わるため、予算措置について制度の利用状況を把握し柔軟に対応できるよう判断して参りたいと考えます。</p> <p>①貸付総額に対する全額保証料補給</p> <p>平成27年度は小口資金特別保証制度と事業活性化資金特別保証制度に対し保証料補給金を予算計上する予定であり、中小企業支援策として有効なものと考えております。小口資金特別保証制度については無条件で、事業活性化資金については一定の条件に該当した場合のみとしており、過去には融資制度の利用状況に対応し、保証料補給金の予算増額を年度途中で実施した例もありますので、中小企業者に不公平感が生じないよう努めて参りたいと考えます。</p> <p>②小口資金特別保証制度資金・事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用推進のPR</p> <p>利用条件の緩和についてですが、基本的に両制度とも、青森県信用保証協会によって提示された要綱に則って実施しております。ただし、市で独自に設定できる分については景況や金融機関の意見、県内他自治体の融資制度の状況等を考慮し、使い勝手の良い制度となるよう、毎年度検討しております。</p> <p>事業活性化資金特別保証制度については、平成25年度から一定の条件該当者のみ全額保証料補給を実施しておりますが、関係機関からの意見を聴取した結果、平成27年度は要件緩和する方向で準備中であり、今後も中小企業者に活用していただける支援策となるよう、できる範囲で見直しを図って参ります。</p> <p>PRについては年度当初実施される管内金融機関及び中小企業者を対象とした融資・助成制度等の説明会、市ホームページへの掲載等により周知を図っており、貴会議所におかれましても事業者により近い見識を持っておられることから、制度のPRや利用について協力していただきたいものと考えます。</p>

担当課・機関名	商工観光課
---------	-------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	7 地域産業振興・雇用拡大につながる交付金制度の創設について
------	--------------------------------

要望事項の内容	<p>平成23年度から平成25年度まで市の委託を受け、緊急雇用創出事業実施要領に基づく「実務研修型雇用対策事業」を実施していたが、本年度は実施していない。しかしながら1年間の賃金補助と雇用の創出は、事業者・求職者双方にとっての経済的支援、また地域活性化に繋がる有効な推進事業であるとの観点から、これに変わる地域の実情を踏まえた自由度の高い「地域産業振興・雇用拡大」につながる交付金制度の創設を要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>平成22年度途中から平成25年度まで、「実務研修型雇用対策事業」を貴会議所へ委託し、新卒者を含む若年者の就職及び再就職率を高めるための雇用対策として実施いたしました。これは単なる賃金補助ではなく、景気の低迷により雇用を見送ってきた企業等に対し、人材育成をしながら就業者とのマッチングを図るため、研修を実施する事業に対し、賃金補助を行うというものであります。</p> <p>平成25年度途中の緊急雇用創出事業等実施要領の改正に伴い、地域の実情に応じ、賃金の上昇や正規雇用化の促進を達成するための「地域人づくり事業」が制定され、平成26年度も同様の事業を継続して実施することが可能となりました。</p> <p>これまで実施していた実務研修型雇用対策事業での雇用実績は、就業年数が長くなるに従い、継続雇用率が低下している傾向がありました。そこで、地域人づくり事業を活用して人材育成をさらに強化し、就業者のスキルアップを図る新しい実務研修型雇用対策事業を構築し、平成26年度も継続事業で実施していただくよう要望、貴会議所と協議いたしました。</p> <p>しかし、事業実施に伴う事務の増加等を考慮した結果、貴会議所は対応できないとの結論を出し、今年度の事業実施を見送った経緯があることはご承知のことと思います。</p> <p>市独自で新たな交付金制度を創設したとしても、実務研修型雇用対策事業と同様の事務が発生することは予想されます。また、現在の市の財政事情を勘案すると単独の財源を活用した交付金制度の創設は非常に厳しいと考えます。事業を開始した時点から比べると有効求人倍率は大幅に回復しており、良い方向に向かっていると認識しておりますが、雇用対策については、今後も検討していかなければならない事項であると考えておりますので、国の制度や事業所のニーズ等、情報収集を継続して参りたいと思います。</p> <p>なお、全面的には困難であります。地場産業育成のための既存制度について、要件緩和を現在検討中であります。</p>

担当課・機関名	商工観光課
---------	-------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	8 定住・交流人口増加対策の強化について
------	----------------------

要望事項の内容	<p>黒石市の人口は、1975年（昭和45年）以降増加を続けたが、1980年をピークに減少傾向となり、2014年9月末日現在では、35,480人となっている。総務省国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によると2040年には約22,400人、平均年齢55.2歳と試算され、人口減少と少子高齢化が一層進むものと見込まれている。このことは、地域経済にマイナス効果をもたらすものであり、これに歯止めをかけることは極めて重要な課題であるとの認識から、下記について総合的な定住・交流人口増加対策の強化を要望いたします。</p> <p>①工業団地の拡大と企業誘致の増加による雇用の場の拡大を図る。          ②全国平均を下回る出生率の向上を図るための施策を講じる。          ③文化会館をはじめとする行政関連施設の効率的な運用による交流人口の増加を図る。</p>
要望事項に対する回答	<p>①工業団地の拡大と企業誘致の増加による雇用の場の拡大を図る。</p> <p>全国的に工業団地を所有している自治体は、土地の売却ができず財政負担が重くのしかかっている現状もあることや、当市においては財政健全化へ向け取り組んでいる途中であることから、将来に向けての検討課題とさせていただきます。          なお、交通網の発達により、雇用の場と定住とはイコールではないことから、黒石市に定住するためのニーズ把握等が必要であると考えております。</p> <p>②全国平均を下回る出生率の向上を図るための施策を講じる。</p> <p>全国的な課題である人口減少問題に対応するため、人口の増加、そして税収の増加を目指します。そのために、当市では地方創生の一環として、平成27年度から平成31年度までの今後5年間を目標年次として、市の人口減少に係る施策の方向性を定める総合戦略を策定し、住みよい黒石市に向けた人口減少対策を実施します。          また、若い世代が子供を産み育てやすい環境をつくるため、下記のとおり現在行っている子育て世帯への支援を今後も継続していきます。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児医療費給付              （対象者の所得制限なし、就学児前児童自己負担なし、現物給付）</li> <li>・保育料の軽減（国の基準額より軽減）</li> <li>・保育料第3子以降3歳未満児無料化（県補助に加え上乗せ補助）</li> <li>・ひとり親家庭等医療費給付（対象者の所得制限なし、児童は現物給付）</li> </ul> <p>③文化会館をはじめとする行政関連施設の効率的な運用による交流人口の増加を図る。</p> <p>市民文化会館の一部再開については、再開後の運営形態を含めて様々な角度から検討を進めているところですが、財政的にも再開の時期について明言できる段階ではなく、休館の継続はやむを得ないものと判断しました。しかし、1年でも早い再開を目指す姿勢には変わりなく、そのため、厳しい財政状況ながら文化会館運営基金の6千万円は事業に着手するまで取り崩さない考えであり、引き続き様々な可能性を模索・検討してまいります。          また、市所有の各施設を活用した様々なイベント等のPRに努め、誘客による交流人口の増加を図ります。</p>

担当課・機関名	企画課、商工観光課
---------	-----------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	9 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について
------	-------------------------------

要望事項の内容	<p>大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市を結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。この、交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>市の事業として都市計画道路3・4・7黒石環状線の新設区間に平成25年度から着手したところですが、県道弘前田舎館黒石線から国道102号までの区間は、長大橋の建設も必要となる事から、財政面及び技術面から市単独事業としての実施は困難な状況にあります。</p> <p>また、もう一つの懸案事項となっている、県道吹上金屋黒石線の一部区間について、幅員が狭少で、急勾配、急カーブであり、通学路として利用されているのにもかかわらず、冬期間、歩行者等の安全が十分に確保されていない状況にあります。</p> <p>今後、要望区間を整備することで、交通安全確保に大きな効果が得られると考えており、要望表現の内容を工夫し、黒石環状線の一部を県事業により整備していただくよう要望していくとともに、津軽南市町村連絡協議会を通じて要望を継続してまいります。</p>

担当課・機関名	土木課
---------	-----

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	10 黒石市中心市街地活性化基本計画の進捗について
------	---------------------------

要望事項の内容	<p>市内の活性化には、中心市街地活性化基本計画の早期着手が最優先であるとする。しかし、その進捗状況は一般市民には不透明な部分があり、現段階における進捗状況の情報開示を要望いたします。また重要伝統的建造物群保存地区の電柱地中化の早期完成を要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>現在ある黒石市中心市街地活性化基本計画は、旧法（「中心市街地の活性化に関する法律」平成10年制定）に対応したものであり、これまで計画の中から実施可能な事業を精査して実施して参りました。平成18年に同法の改正により、中心市街地活性化基本計画は、概ね5年を目途に完了できる明確な事業費の裏付けを持つ事業であること、また、通行量の増や店舗数の増等定量的な目標の提示が義務付けられており、計画の具体性が求められたことなどにより認定を受けるための条件が非常に厳しいものとなっております。そのため、再度、国の承認を前提とした基本計画の策定については、貴会議所を含め各関係団体等も関わることから、今後調査研究のうえ検討して参りたいと思います。</p> <p>なお、市では平成27年度から4年間を見据えた第5次総合計画（後期基本計画）を作成中であり、中心市街地の活性化も課題として挙げられておりますので、当面の間、新たな施策や事業については、この計画に添って取り組んで参りたいとも考えております。</p> <p>平成27年3月からは黒石市も景観行政団体へ移行することとなり、良好な景観の保全・形成も視野に入れながら、これまで以上に貴会議所と連携して市街地活性化を図って参りたいと考えますので、ご協力をお願いしたいと思います。</p> <p>また、重要伝統的建造物群保存地区の電柱地中化についてですが、伝統的な「こみせ」の保存・整備とともに、景観の向上を図るため、電線類を地中に埋設する工事を早急に行う必要があると考えており、現在、着工に向け取り組んでいるところです。</p>

担当課・機関名	商工観光課、土木課
---------	-----------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	11 黒石市の空き家調査について
------	------------------

要望事項の内容	<p>近年の豪雪により黒石市内の空き家の倒壊が目立っております。未然に事故を防ぐためにも調査を実施し、所有者への連絡（解体を促す勧告）や経済的理由等でできない場合の解体費用を補助するなど、危険回避対策を講じていただくことを要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>現在、市が把握している空き家については、定期的なパトロールなどの確認作業を行い、管理不十分であると判断した建物については、所有者に対し口頭又は文書で適正な管理を要請しております。また、昨年秋の臨時国会において「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が成立しており、これから予定されている法律の施行及び詳細なガイドラインの発表等を受け、今後は法律の規定に基づき、空き家対策を推進して行くこととなります。なお、解体費用の補助については、私有財産に対し公費を投入することになりますので、その公平性、妥当性、必要性等の判断が非常に難しいことから、現時点での実施は困難であると考えております。</p>

担当課・機関名	総務課
---------	-----

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	12 黒石よされ誘客の促進について
------	-------------------

要望事項の内容	<p>黒石よされの開催・運営にあたり、観光客の受け入れ態勢（トイレ・駐車場・照明）の不備や関連設備の老朽化、また祭り参加に係る個人の負担増による参加市民の減少など、多くの問題を抱えている。「黒石よされ」が昔の活気を取り戻すよう、黒石を代表する市の祭りであるとの認識のもと、さらなるご支援を要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>当市の一大夏祭りのひとつである「黒石よされ」が、少子高齢化や社会情勢の変化により、その活気が失われ、よされまつり本来の姿も変わってきている現状について、市としても憂慮しているところであります。</p> <p>先般、このような現状を見直すべく、黒石よされ実行委員会内に長期計画委員会が立ち上がり、検討を重ねていただいていることはありがたい限りであり、良い方向に導けるような取組をお願いするところであります。</p> <p>「さらなるご支援を」とのご提言につきましては、これまで毎年9,000千円余を補助金という形で助成しており、これ以上の支援については、現時点では困難であると考えておりますが、昔のような活気を取り戻すことは、貴会議所のみならず、当市としても大いに望んでいるところでありますので、今後とも、貴会議所、観光協会など実行委員会構成団体とともに、協議を重ねたいと考えております。</p>

担当課・機関名	商工観光課
---------	-------

平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	13 近隣市町村とのイベント情報の一元化について
------	--------------------------

要望事項の内容	<p>近年、各地域では活性化のためイベント開催が活発化している。そのため、近隣市町村とイベント日程が重複し、黒石市への誘客に影響する可能性がある。各地域の観光資源を繋ぐ広域観光の推進を目指し、効果的なイベント実施ができるよう、行政担当課間の連携の強化、および情報の一元化を図ることを要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>イベントにつきましては、当市では、黒石よされ、黒石ねぶた祭りをはじめ、イベント規模の大小に関わらず毎月毎週いたるところで開催されており、また市外近隣市町村においても、様々な趣旨のもと、たくさんのイベントが開催されております。</p> <p>各市町村で開催されている恒例行事や古くからの風習等で開催日が固定されているイベントは、それぞれの市町村の主催者間で会期が重複しないような配慮や調整がされてきました。</p> <p>また、行政担当課間の連携や情報の一元化を図る上では、津軽地域自治体等で構成する津軽広域圏観光協議会や弘前圏域定住自立圏観光推進協議会や、中南地域県民局も含めた情報交換の場を持ち、広域的にイベント情報を取りまとめ、市広報や県観光連盟発行の冊子等へ掲載し、情報を提供しております。</p> <p>しかし、それらのイベントを市町村間で調整し開催するとなると、イベント毎に主催者が異なっており、それぞれの都合で会期を設定していることから、調整は非常に難しいものと考えておりますが、当市としては、上記の会議において、効率的なイベント実施について貴会議所の趣旨を話題として取り上げることは可能であると考えております。</p> <p>また、各市町村で開催される特に大きなイベントには自治体のほか、商工会議所や商工会、観光協会などで実行委員会方式で運営していることが多いことから、当市の観光協会にも貴会議所の趣旨をお伝えし、広域の会議等で話題として取り上げてもらえるよう要請したいと考えておりますので、貴会議所におかれましても、商工会議所、商工会など広域での会議の際、本件について調整可能かを話題として取り上げていただくことをお願いします。</p>

担当課・機関名	商工観光課
---------	-------



平成27年度黒石商工会議所からの要望事項

要望事項	14 市主催イベントの充実について
------	-------------------

要望事項の内容	<p>文化会館稼働再開の目途が立たない現在、市民が音楽コンサートなどの文化活動に触れる機会が減少している。スポカルイン黒石などを活用し、美術品の展覧会や学術的な博覧会、コンサートを実施するなど、子供や若年層が楽しめるイベントの誘致、実施を要望いたします。</p>
要望事項に対する回答	<p>黒石市民文化会館は、早期の一部再開を目指しているところですが、その間の文化活動については、黒石文化協会が中心となり場所を替え、各種団体が様々な工夫をしながら継続してきており、本市でも側面から協力しているところです。コンサート等については、若者達が自ら実行委員会を立上げ、虹の湖ロックフェスティバル等を開催するなど楽しんでいることから、本市でも出来る限り協力して行きたいと考えております。また、各種イベントの際には、ミニコンサート、和太鼓及び各種ダンス等も披露されていることから、更なるPRの充実を図って参ります。</p> <p>次に、スポカルイン黒石のアリーナは、本格的なコンサートには構造上不向きな施設であります。また、美術品展覧会や学術的博覧会についても、設備や警備面から多額の費用を要することもあり、当面は、県立美術館等近隣で開催される催し物を市民に周知して参ります。</p> <p>なお、平成26年度からスポカルイン黒石の使用料区分の見直しを図り、カルチャー部門でも利用が容易になったことから、市民や各種団体の自主的な企画にも期待をしていると同時に、今後は、民間、貴商工会議所及び行政が互いに知恵を出し合いながら、市民が美術品の鑑賞や、音楽を楽しむ場を構築していきたいと考えておりますのでご協力をお願いします。</p>

担当課・機関名	文化スポーツ課
---------	---------